



## 2021年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年12月11日

上場会社名 日東製網株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3524 URL <http://www.nittoseimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 宏明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部本部長 (氏名) 北方 浩樹

TEL 084-953-1234

四半期報告書提出予定日 2020年12月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年4月期第2四半期の連結業績(2020年5月1日～2020年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第2四半期	8,379	13.6	352	1.1	426	19.3	269	24.5
2020年4月期第2四半期	9,697	11.1	349	61.0	357	24.4	216	37.5

(注) 包括利益 2021年4月期第2四半期 244百万円 (64.1%) 2020年4月期第2四半期 148百万円 (120.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第2四半期	103.85	
2020年4月期第2四半期	83.44	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期第2四半期	21,429	6,174	28.1	2,322.83
2020年4月期	21,011	6,060	28.2	2,281.08

(参考) 自己資本 2021年4月期第2四半期 6,024百万円 2020年4月期 5,915百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期		0.00		50.00	50.00
2021年4月期		0.00			
2021年4月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,200	4.6	850	13.6	840	26.0	550	94.7	212.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期2Q	2,605,000 株	2020年4月期	2,605,000 株
期末自己株式数	2021年4月期2Q	11,576 株	2020年4月期	11,576 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期2Q	2,593,424 株	2020年4月期2Q	2,592,067 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ペ - ジ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が大きく制限されておりましたが、一部では改善の兆しもでてまいりました。ただし、国内だけでなく世界的にも終息には、程遠い状況で、先行きが見通しにくい状況が続いております。

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、海洋環境や気象状況の変動による漁獲量の減少や外出自粛の影響で外食産業向けの高級魚・水産物などの需要が減少していることに加え、漁船漁業者の一部は海外への出航ができない状況が続いており、漁業従事者の経営環境は引き続き厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、漁業関連事業では、本来前期に納品予定であった繰越分が計上されたことや新リース事業等の手続きが順調に進んだ定置網部門は堅調でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、旋網部門や水産部門、養殖網部門等の売上高が大きく減少しました。陸上関連事業では、コロナ対策で室内換気の必要性から防虫網部門が伸び、獣害防止ネットや落石防止ネット等の災害対策用途の陸上用ネットの販売は好調だったものの、全体としては前年同期と比べ減少しました。営業利益は、売上高が伸び悩む中でも、主力の定置網部門の売上高が好調だったことと、計画的な生産を継続したことで製造原価を抑えることができたこと等により、前年同期並みを維持できました。

また、営業外収益では受取保険金、保証債務費用戻入額等の計上があり、営業外費用で持分法による投資損失等の計上がありました。営業外損益はプラスとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,379百万円（前期同期比13.6%減）、営業利益は352百万円（前期同期比1.1%増）、経常利益は426百万円（前期同期比19.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は269百万円（前期同期比24.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [漁業関連事業]

売上高は6,765百万円（前年同期比17.3%減）となりました。今夏は台風の発生も少なく、主力の定置網部門の売上高は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外向けの商談が停滞し、旋網部門の売上高が減少しました。また、外食産業向けの高級魚の需要が減少したことなどから水産部門、養殖網部門の売上高も減少しました。利益面は、漁業関連事業全体としての売上高は減少しましたが、主力の定置網部門の売上高が好調だったことで、他の部門の落ち込みをカバーでき、セグメント利益は348百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

#### [陸上関連事業]

売上高は1,606百万円（前年同期比5.8%増）となりました。主な要因は施工工事部門の売上高は低調でしたが、防虫網や獣害防止ネットの受注が好調で売上高は増加しました。利益面は、施工工事部門の売上高が減少したこと、防虫網部門の事業強化を図り人件費等のコストが増加したことでセグメント利益は4百万円（前年同期比88.0%減）となりました。

#### [その他]

前期に引き続き機械の部品加工等の受注は低調でしたが、小口商材が増加し、売上高は6百万円（前年同期比246.1%増）となりました。利益面は、売上高の増加によりやや改善したもののセグメント損失0百万円（前年同期は0百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ418百万円増加し、21,429百万円となりました。その主な内容は、以下のとおりであります。

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ528百万円増加し、14,862百万円となりました。これは主に商品及び製品の在庫が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ110百万円減少し、6,566百万円となりました。これは主に投資その他の資産のその他の満期による生命保険料払込金の返戻による減少等によるものです。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,014百万円増加し、11,638百万円となりました。これは主に電子記録債務及び短期借入金等が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度と比べ710百万円減少し、3,616百万円となりました。これは主に長期借入金の返済によるものです。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度と比べ114百万円増加し、6,174百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2020年6月10日に公表いたしました2021年4月期の連結業績予想に変更はありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	960,353	1,191,884
受取手形及び売掛金	7,022,686	6,460,843
商品及び製品	4,199,087	5,078,754
仕掛品	683,650	698,649
原材料及び貯蔵品	1,070,355	1,140,140
その他	434,868	327,581
貸倒引当金	△37,295	△35,455
流動資産合計	14,333,708	14,862,397
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,379,316	2,395,702
その他(純額)	2,566,517	2,613,269
有形固定資産合計	4,945,833	5,008,971
無形固定資産		
のれん	211,411	199,093
その他	49,170	42,531
無形固定資産合計	260,582	241,624
投資その他の資産		
長期営業債権	926,506	954,382
繰延税金資産	203,458	211,873
その他	1,009,401	856,722
貸倒引当金	△668,742	△707,062
投資その他の資産合計	1,470,624	1,315,915
固定資産合計	6,677,040	6,566,511
繰延資産	278	239
資産合計	21,011,027	21,429,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,183,637	2,322,197
電子記録債務	1,071,559	1,390,300
短期借入金	6,166,658	6,613,559
未払法人税等	133,939	191,547
賞与引当金	244,933	270,287
その他	823,678	850,683
流動負債合計	10,624,406	11,638,575
固定負債		
長期借入金	3,412,485	2,718,304
長期末払金	25,769	21,608
役員退職慰労引当金	246,364	243,067
退職給付に係る負債	483,846	495,708
繰延税金負債	105,846	105,846
その他	52,204	31,584
固定負債合計	4,326,516	3,616,119
負債合計	14,950,922	15,254,695
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,378,825	1,378,825
資本剰余金	510,540	510,540
利益剰余金	4,241,411	4,381,057
自己株式	△18,062	△18,062
株主資本合計	6,112,714	6,252,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,913	50,644
為替換算調整勘定	△235,822	△278,930
その他の包括利益累計額合計	△196,908	△228,286
非支配株主持分	144,299	150,379
純資産合計	6,060,104	6,174,454
負債純資産合計	21,011,027	21,429,149

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)
売上高	9,697,245	8,379,036
売上原価	7,841,120	6,464,741
売上総利益	1,856,125	1,914,294
販売費及び一般管理費	1,507,097	1,561,522
営業利益	349,028	352,771
営業外収益		
受取利息	9,769	9,461
受取配当金	5,242	5,358
固定資産賃貸料	17,371	14,719
保証債務費用戻入額	-	37,293
持分法による投資利益	2,222	-
為替差益	3,182	3,544
受取保険金	-	47,535
その他	34,585	44,642
営業外収益合計	72,373	162,553
営業外費用		
支払利息	31,404	26,493
手形売却損	6,543	5,091
保証債務費用	15,828	-
持分法による投資損失	-	44,985
その他	9,793	11,773
営業外費用合計	63,570	88,344
経常利益	357,831	426,981
税金等調整前四半期純利益	357,831	426,981
法人税、住民税及び事業税	139,752	164,614
法人税等調整額	△263	△13,030
法人税等合計	139,488	151,584
四半期純利益	218,343	275,396
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,065	6,079
親会社株主に帰属する四半期純利益	216,277	269,317



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	218,343	275,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,002	11,732
為替換算調整勘定	△37,450	△24,490
持分法適用会社に対する持分相当額	△13,231	△18,617
その他の包括利益合計	△69,684	△31,376
四半期包括利益	148,658	244,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,591	237,940
非支配株主に係る四半期包括利益	2,066	6,080

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,177,682	1,517,559	9,695,241	2,003	9,697,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,177,682	1,517,559	9,695,241	2,003	9,697,245
セグメント利益又は損失(△)	312,588	36,617	349,205	△177	349,028

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	漁業関連事業	陸上関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,765,834	1,606,267	8,372,102	6,934	8,379,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,765,834	1,606,267	8,372,102	6,934	8,379,036
セグメント利益又は損失(△)	348,596	4,401	352,997	△225	352,771

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械の製造・メンテナンス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

当社は、2020年12月11日開催の取締役会において、新事業所の建設を決議いたしました。

1. 新事業所建設計画の経緯・理由

当社は、1910年に創業し、今年で創業110周年を迎えました。これまでは約50年前に建設した福山本社工場を中心として、お客様のニーズに応えるべく国内拠点の整備に努めて参りましたが、近年は老朽化が顕著な状況となったことから、生産機能、本社機能、研究開発機能の強化並びに更なる飛躍のため、現福山工場敷地内に、当社の核となる新事業所を建設することを決定し、その内容について決議いたしました。

2. 新事業所建設計画の概要

- (1) 名 称 日東製網株式会社 福山事業所 (仮称)
- (2) 所 在 地 広島県福山市一文字町14番14号
- (3) 敷地面積 57,335.80㎡
- (4) 延床面積 約 24,800㎡
- (5) 設備概要 新工場兼事務所 鉄骨造/地上2階 約 22,900㎡  
新もじ網工場 鉄骨造/地上1階 約 1,700㎡
- (6) 投資総額 約76億円 内訳：建物工事費等70億円 機械設備等6億円
- (7) 資金計画 自己資金及び借入金等により充当
- (8) 日 程 新工場兼事務所工期 2020年12月～2022年1月 (予定)  
新もじ網工場工期 2022年5月～2022年11月 (予定)

3. 今後の見通し

2021年4月期の通期業績予想に与える影響は精査中であります。